

地籍フォーマット 2000 ビューF 操作説明書

2008/10/15
 有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

【地籍フォーマット 2000 ビューF】は地籍フォーマット 2000 の 10 種類のファイルのビューアーです。地籍フォーマット 2000 ファイルのバージョンは Ver.1.0 と Ver.1.1 に対応しています。

バージョン	ビルド
2.02	2008/10/15

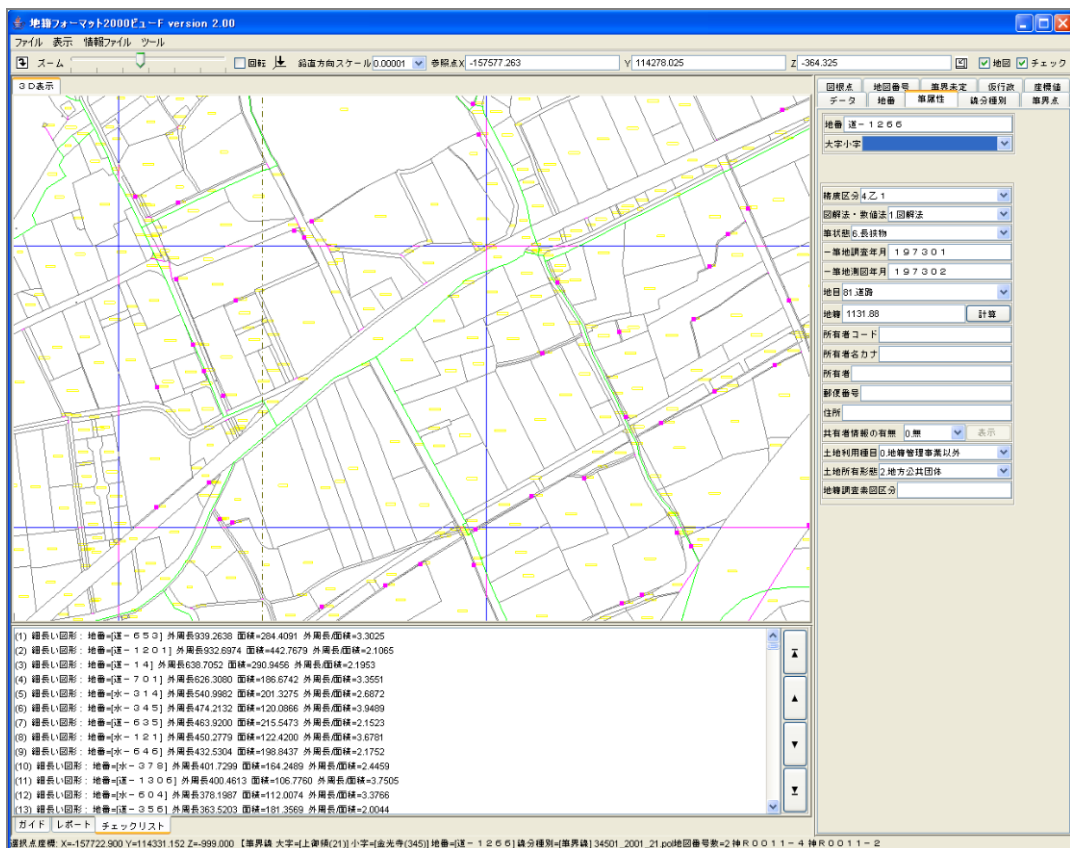
【地籍フォーマット 2000】

Ver. 1.0
Ver. 1.1

1. 地区別情報ファイル(.hed)
2. 地図番号情報ファイル(.map)
3. 筆界点情報ファイル(.pnt)
4. 筆・長狭物図形情報ファイル(.pol)
5. 筆属性情報ファイル(.atr)
6. 共有者情報ファイル(.cos)
7. 筆界未定構成筆属性情報ファイル(.und)
8. 仮行政界線情報ファイル(.lin)
9. 図根点情報ファイル(.tcp)
10. 国土調査登記情報ファイル(.txt)

【地籍フォーマット 2000 ビューF】

- ・ 地籍フォーマット 2000 ファイルデータ表示



【インストール】

インストール説明書(GeoCoach3D-series-install.pdf)を参照してください。

【立ち上げ】

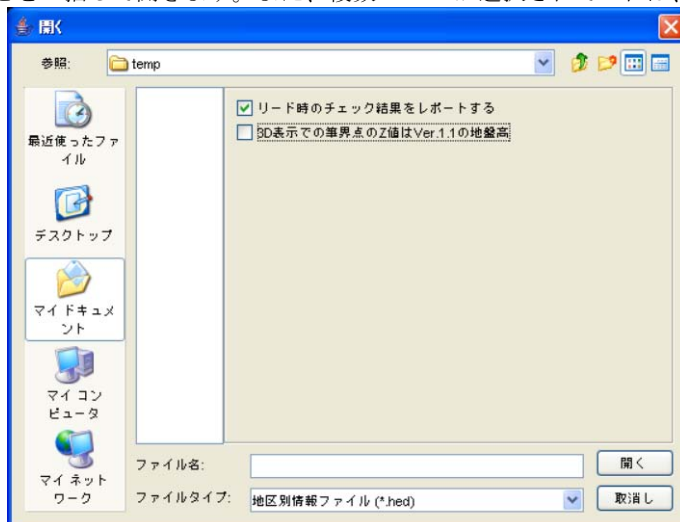
Windows のスタートメニューのプログラムから、[GeoCoachSystems]-[地籍フォーマット 2000 ビューF]で立ち上げます。

【終了】

[ファイル]メニューの[終了]で、終了します。

【地籍フォーマット 2000 ファイルを開く】

[ファイル]メニューの[参照]-[地籍フォーマット 2000...]を選択し、ファイル選択ダイアログで地区別情報ファイル(拡張子.hed)を選択してください。同じ名前で、拡張子が異なる筆界点情報ファイル(.pnt)や図根点情報ファイル(.tcp)などを一括して開きます。また、複数の.hed が選択されていれば、同時に開きます。



【リード時のチェック結果をレポートする】

ファイルを開く際に以下の項目をチェックします。

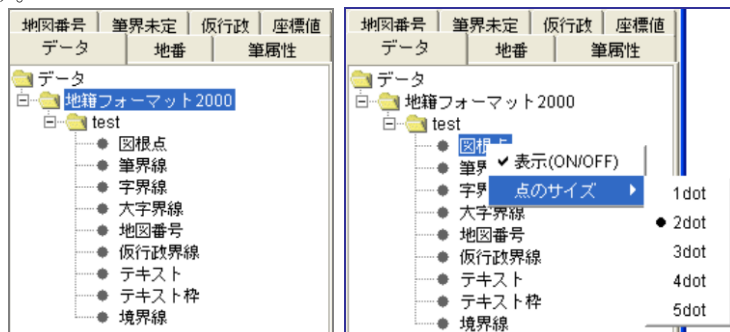
- 筆・長狭物図形について面積が 0.0 のものがあれば[レポート]パネルに地番を表示します。
- 筆・長狭物図形について、左回りになっている場合、反転して右回りにして、[レポート]パネルに地番を表示します。
- 筆属性情報ファイルについて、該当する筆・長狭物図形がなければ、行番号をレポートします。但し、筆属性が現地確認不能、滅失、不存在の場合と地図番号数が 0 の場合は対象外です。
- 筆属性情報ファイルについて、同じ大字・小字・地番のレコードがあれば、行番号をレポートします。

【3D 表示での筆界点の Z 値は Ver. 1.1 の地盤高】

地籍フォーマット 2000 のバージョンが 1.1 の場合、筆界点の Z 値について、「標高」ではなく「地盤高」を参照し、3D 表示に使用します。

ファイルのリードが終わると、筆・長狭物図形、筆界点、図根点、仮行政界線および地図番号の形状を[3D表示]パネルに表示します。地図データを囲む矩形を線で表示します。

ウィンドウ右側[データ]パネルにファイル名がついたノードを追加します。ここで表示非表示、点のサイズなどが指定できます。



[地番]パネルに筆・長狭物図形の大字名称、小字名称、地番をリスト表示します。選択すると、該当する筆・長狭物図形を3Dパネルの中央に表示します。

地図番号	筆界未定	仮行政	座標値
データ	地番	筆属性	
評価 [中中] [32-1B]			
評価 [中中] [36]			
評価 [中中] [40]			
評価 [中中] [41]			
評価 [中中] [42]			
評価 [中中] [43-1]			
評価 [中中] [43-2]			
評価 [中外町] [197-1]			

【各ファイルの情報表示】

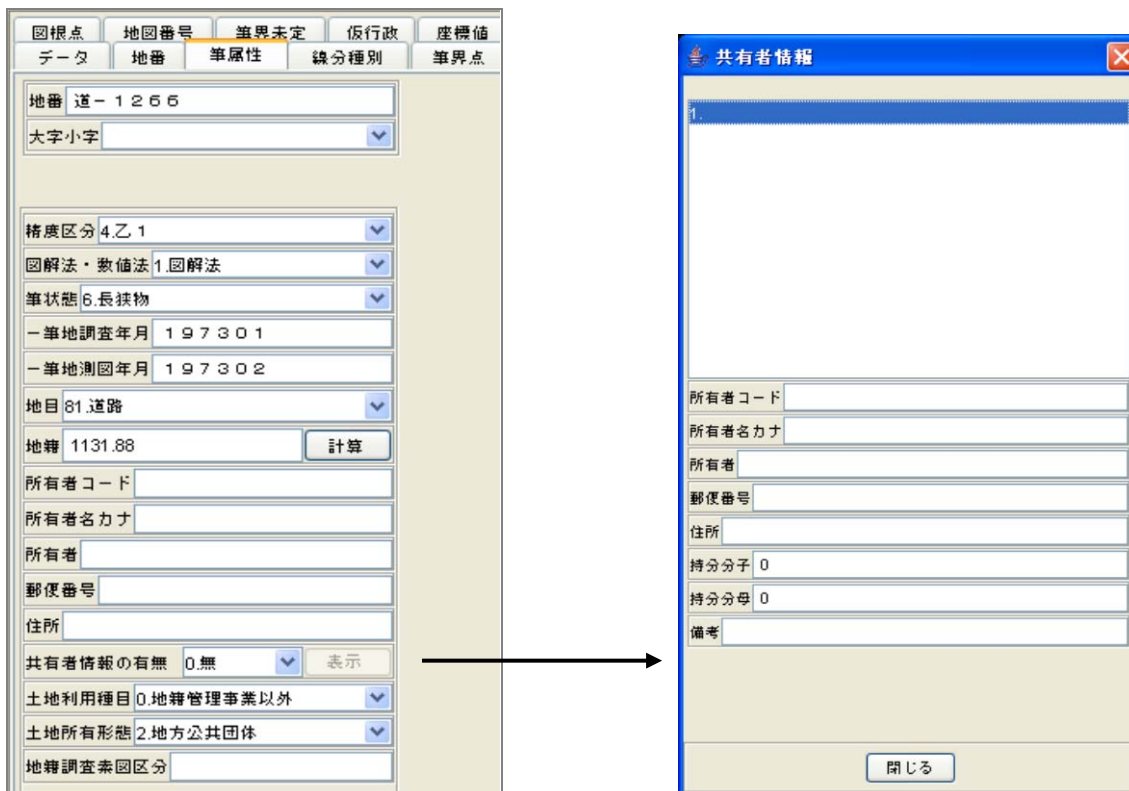
地籍フォーマット2000の10個のファイルについて、情報を表示する機能やメニューの一覧です。メニュー名は[]-[]で示します。パネルはウィンドウ右側のタブによって切り替えることができるパネルを指します。

筆界未定	仮行政	座標値	
筆界点	図根点	地図番号	
データ	地番	筆属性	線分種別
データ			
地籍フォーマット2000			

ファイル名	情報表示
1. 地区別情報ファイル	[情報ファイル]-[地区別情報]メニュー
2. 地図番号情報ファイル	[地図番号]パネル
3. 筆界点情報ファイル	[筆界点]パネル
4. 筆・長狭物図形情報ファイル	[筆属性]パネル [線分種別]パネル [地番]パネル
5. 筆属性情報ファイル	[筆属性]パネル
5. 共有者情報ファイル	[筆属性]パネル(選択されている筆について確認)
7. 筆界未定構成筆属性情報ファイル	[筆界未定]パネル
8. 仮行政界線情報ファイル	[仮行政]パネル
9. 図根点等情報ファイル	[図根点]パネル
10. 国土調査登記情報ファイル	[情報ファイル]-[国土調査登記情報]メニュー

【筆・長狭物と筆属性の情報表示】

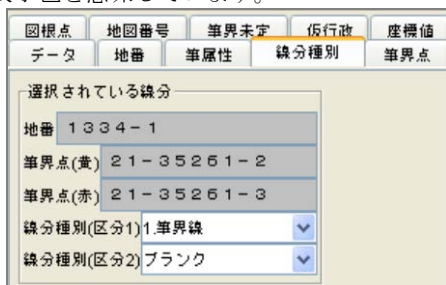
ウィンドウ右側の[筆属性]パネルで、選択している筆・長狭物図形と筆属性を確認することができます。3D表示パネルで選択されている筆・長狭物図形の情報を表示します。



【共有者情報の有無】 共有者情報がある場合「1.有」の場合、「表示」ボタンが使えるようになります。この「表示」ボタンで、共有者情報を確認できます。上のリストに所有者名の一覧を表示し、下に選択された所有者上の項目を表示します。

【筆・長狭物図形の線分種別】

ウィンドウ右側の[線分種別]パネルで、選択している筆・長狭物図形の線分について、線分種別が確認できます。筆・長狭物図形のハイライトで、赤色と黄色の破線部分について、線分種別を表示します。筆界点の(黄)と(赤)は3Dパネルでの表示色を意味しています。



【筆界点情報の確認】

ウィンドウ右側の[筆界点]パネルで、選択している筆・長狭物図形の筆界点(黄色い点で表示)の確認ができます。上のリストには最初に開いた筆界点情報ファイルの筆界点の名称を表示します。また、リストで選択された筆界点の情報を下に表示し、その位置が3Dパネルの中央になるようにスクロールします。

図根点	地図番号	筆界未定	仮行政	座標値
データ	地番	筆属性	線分種別	筆界点
21-35247-1				
21-35249-1				
21-35249-2				
21-35249-3				
21-35250				
21-35253				
21-35254				
21-35256				
21-35257				
21-35258-1				
21-35258-2				
21-35259				
21-35260				
21-35261-1				
21-35261-2				

1.筆界点名称	21-35261-2
2.×座標	-157912.705
3.Y座標	114549.963
4.標高	0.000
5.筆界点の区分	1
6.標識区分	0.不明等
7.材質区分	0.不明等
8.測量年月	197301
9.測定方式	1.図解法
10.数値取得方法	1.図上読取
11.図根点等の兼用	
12.地盤高	
13.筆界点設置者種別	ブランク

【図根点情報の確認】

ウィンドウ右側の[図根点]パネルで、選択されている図根点(黄色い点で表示)の確認ができます。上のリストには最初に開いた図根点情報ファイルの図根点の名称を表示します。また、リストで選択された筆界点の情報を下に表示し、その位置が3Dパネルの中央になるようにスクロールします。

データ	地番	筆属性	線分種別	筆界点
図根点	地図番号	筆界未定	仮行政	座標値
G00G0021-19				
G00G0021-2				
G00G0021-20				
G00G0021-21				
G00G0021-22				
G00G0021-23				
G00G0021-24				
G00G0021-25				
G00G0021-26				
G00G0021-27				
G00G0021-28				
G00G0021-29				
G00G0021-3				
G00G0021-30				
G00G0021-31				
G00G0021-32				

1.図根点名称	
2.×座標	
3.Y座標	
4.標高	
5.図根点種別	0.不明
6.等級または次数	0.不明
7.標識区分	0.不明等
8.材質区分	0.不明
9.測量年月	
10.測定方式	0.不明

【地図番号情報の確認】

ウィンドウ右側の[地図番号]パネルで、選択している地図番号の内容の確認ができます。[地図番号]パネルが表示されている状態で、[3D表示]で地図番号の矩形を選択してください。このパネルが表示されている場合、3Dパネルでは地図番号の図形のみが選択でき、他のデータは選択できません。

データ	地番	筆属性	線分種別	筆界点
図根点	地図番号	筆界未定	仮行政	座標値
地図番号				
縮尺	500			
左下X	-158550.000			
左下Y	114400.000			
(左上X)	-158400.000			
(左上Y)	114400.000			
右上X	-158400.000			
右上Y	114600.000			
(右下X)	-158550.000			
(右下Y)	114600.000			
実施機関名	神辺町			
実施区分	1			
新旧区分	1 既存の区画番号			
調査年月・測図年月				
196902・196903				
調査年月				
測図年月				

【筆界未定構成筆属性情報】

ウィンドウ右側の[筆界未定]パネルで確認できます。上側のリストに最初に開いたファイルの情報を表示します。表示するのは筆界未定地大字コード、筆界未定地小字コード、筆界未定地仮地番です。リストの項目を選択すると、該当する内容を下に表示します。また、大字コードと小字コード、地番が一致する筆・長狭物図形があれば、図形を3Dパネル中央に表示します。

データ	地番	筆属性	線分種別	筆界点
図根点	地図番号	筆界未定	仮行政	座標値
21 719 [筆界未定地- 1]				
21 530 [筆界未定地- 2]				
21 624 [筆界未定地- 3]				
21 624 [筆界未定地- 4]				
21 114 [筆界未定地- 5]				
21 706 [筆界未定地- 6]				
21 706 [筆界未定地- 7]				
21 625 [筆界未定地- 8]				
21 378 [筆界未定地- 9]				
21 822 [筆界未定地- 10]				
21 360 [筆界未定地- 11]				
筆界未定地大字コード	21			
筆界未定地小字コード	624			
筆界未定地仮地番	筆界未定地- 3			
[上御積][宗良原][275]				
[上御積][宗良原][279]				
表示				

筆界未定構成筆属性情報の筆属性

大字小字

地番 275

筆界未定構成筆状態 1筆

一筆地調査年月 198301

地目 7山林

地籍 1071.00

所有者コード 146019

所有者名カナ

所有者

郵便番号 720-2111

住所

共有者情報の有無 0無

閉じる

下のリストには、筆界未定地番の大字名称、小字名称、地番を表示します。「表示ボタンを押すと、筆属性のダイアログを表示します。

【仮行政界線情報】

ウィンドウ右側の[仮行政]パネルで確認できます。上のリストに最初に開いたファイルの仮行政界線の区分と点数を表示します。リストの項目を選択すると、下に項目のデータを表示します。

データ	地番	筆属性	請求種別	筆界点
図根点	地図番号	筆界未定	仮行政	産権種

仮行政界線 1.仮小字界線

点名称

ここに表示された筆界点あるいは図根点の名称を選択すると、該当する点を 3D パネルの中央に表示します

下のリストには、仮行政界線を構成する筆界点と図根点の名称を表示します。リストの項目を選択すると、該当する点を 3D パネルにハイライトします。

【情報ファイル】 - 【地区別情報】

地区別情報ファイル(.hed)の内容を表示するダイアログを開きます。複数の組の地籍フォーマット 2000 ファイルが開かれている場合、最初に開かれたものについて表示します。

市区町村コード

市区町村名

座標系: ブランク

変換情報: 新規作成

作成者

作成年月: 200203

調査地区名

作成面積: 5.28

測地系: 1日本測地系

閉じる

【情報ファイル】 - 【国土調査登記情報】

国土調査登記情報ファイルのダイアログを表示します。ダイアログ左側に各レコードのIDをリスト表示します。リストで選択されたレコードの内容を左側に表示します。複数の組の地籍フォーマット 2000 ファイルが開かれている場合、最初に開かれたものについて表示します。

ID

ID

修正区分: 空白

登記内容

公告日: 年 月 日

特殊登記の種類: ブランク

種別: ブランク

調査前地番区域: 調査後地番区域

調査前地番: 調査後地番

調査前地日: 調査後地日: 0.不明等

調査前地籍: 調査後地籍

物件状態: ブランク

処理区分: ブランク

名義人住所

名義人氏名

地図番号

登記目的 1

所在の変更(原因及びその日付)

登記目的 2

表示層層の変更(原因及びその日付)

登記目的 3

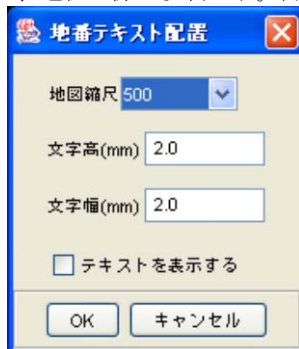
所有者の変更(原因及びその日付)

登記目的 4

閉じる

【ツール】 - 【地番テキスト配置】

メニュー「ツール」の「地番テキスト配置」を実行すると、筆・長狭物図形の閉領域の中に、地番の文字列を表示する位置を計算し、文字列の位置を黄色い矩形で表示します。文字列の矩形をクリックすると、筆・長狭物図形が選択できるので、選択の際に便利です。計算時間が多少掛かります。



【テキストを表示する】 地番のテキストを全て表示します。テキストの表示には大量のメモリーを使用するので、筆・長狭物図形の数が多の場合、メモリー不足を起こす可能性があります。デフォルトはOFFです。テキストを表示していない場合、筆・長狭物図形が選択された際に、矩形の中に地番を表示します。

OK ボタンが押されたときの入力内容を記録し、次回起動時のデフォルトにします。

【ファイルメニュー】

- ・ 参照 地籍フォーマット 2000 一連のファイルを開きます。
- ・ スナップショット
3 Dパネルの画像について印刷やクリップボードへのコピーができます。



【画像サイズ】 作成する画像のサイズを指定します。サイズが大きいほど、より高解像度の画像が作成できます。3 Dパネルの画像より高解像度の画像を作成することができます。サイズの縦横比が3 Dパネルと異なる場合、3 Dパネルの横方向を合わせます。高解像度の画像ほど、メモリー使用量が大きくなり、作成に時間がかかります。

【表示】 ウィンドウを開き、作成した画像を表示します。ファイルメニューには「クリップボードへコピー」と「印刷」があります。

【クリップボードへコピー】 作成した画像をクリップボードへコピーします。他のアプリケーションで貼り付けることができます。

【印刷】 作成した画像を印刷します。イメージ作成後、印刷ダイアログを表示します。

【表示メニュー】

- ・ 鉛直表示：参照点を真上からみる表示に変わります。
- ・ 背景色...：[3 D表示]パネルの背景色が指定できます。
- ・ チェックリストの点のサイズ：[チェックリスト]パネルの項目に対応する3 D表示の点のサイズを指定
- ・ 確認リストの点のサイズ：[確認リスト]パネルの項目に対応する3 D表示の点のサイズを指定
- ・ 表示設定：選択された点列の方向を矢印表示します。



【参照点】

注目している点を「参照点」としています。参照点を中心に3次元表示の回転・ズームします。見たい地物を参照点とすることで、いろいろな角度から自由に見ることができます。左マウスボタンのダブルクリックで選択された地物上の位置が参照点になります。

- ・ [3D表示]パネルでは、XYZ軸に平行な6本の一点鎖線で参照点位置を示します。北向きの線を明るく表示しています。この線と参照点の間隔は、実座標で1.0cmです。
- ・ [データ]パネルの[データ]のポップアップメニュー [参照点位置表示(ON/OFF)]でこの線の表示非表示が指定できます。
- ・ ツールバーに参照点の座標を表示します。また、座標を入力することで、参照点が変更できます。
- ・ ファイルをリードした直後は、3次元の地図データの中心が参照点となっています。
- ・ [地番]パネルに表示されている地番をクリックすると、その筆・長狭物図形が参照点になります。


【マウスによる3次元表示のコントロール】

3次元表示はマウスでコントロールします。

- ・ 左ボタンドラッグ：参照点を中心に地図表示を回転します。横方向の移動で、参照点を通る鉛直線を軸にして回転します。縦方向の移動で、参照点を中心として地図を見る視点が上下します。ツールバーの[回転]がチェックされている場合に有効です。
- ・ 中ボタンドラッグ：地図表示の参照点を中心にズームします。上方向で縮小、下方向で拡大します。ツールバーのズームスライダが連動します。
- ・ 右ボタンドラッグ：地図表示をスクロールします。地図の表示を上下左右に移動します。参照点の座標は変わりません。
- ・ 左ボタンクリック：要素を選択します。選択された要素の座標を[座標値]パネルに表示します。また、ステータスバーと[レポート]パネルに座標値と分類コード、名称を表示します。
- ・ 左ボタンダブルクリック：要素を選択すると同時に、マウスポインタ位置の地図データの点が参照点に変わります。参照点の座標を変更し、参照点が地図の中心になるように表示します。
- ・ 左ボタンクリック(コントロールキー)：マーク点の指定と解除。
- ・ 右ボタンクリック：マウスポインタ位置の地図データの情報表示。ステータスバーと[レポート]パネルに座標値と分類コード、名称およびマーク点からの距離・方向角を表示します。

【ツールバーでの3次元表示コントロール】



- ・ ズーム：[3D表示]パネルの参照点を基準にズームします。マウス中ボタンによるドラッグと同じです。
- ・ 回転：マウス左ボタンのドラッグによる視線の回転について、有効無効を切り替えます。無効にすると、上空から真下を見る状態になり、北側をウインドウ上側に表示します。
- ・  鉛直表示：参照点を真上からみるように3D表示を回転させます。
- ・ 鉛直方向スケール：鉛直方向のスケールを指定します。デフォルトは0.00001の最小値です。最小値では、地図データがほとんど同一平面上に乗り、地図を2次元として見ることができます。1.0で水平方向と垂直方向が1対1になり、通常の3D表示になります。
- ・ 参照点XYZ：参照点の位置を測量座標で表示しています。座標値の数値入力で、参照点座標が変更できます。
- ・ 地図：全ての地図データの表示非表示を切り替えます。ファイル別の地図表示は[データ]パネルで指定できます。
- ・ チェック：[チェック]パネルの各項目に対応する点の3D表示について表示非表示を指定します。
- ・ 確認：[確認]パネルの各項目に対応する点の3D表示について表示非表示を指定します。

【ピッキング】

3D表示パネルでの、マウスボタンクリックによる地図データの選択を「ピッキング」としています。左クリックで参照点・マーク点指定、右クリックで情報表示を行います。表示されていない地図データはピッキングできません。要素が全く重なっている場合、同じ箇所でもピッキングすることにより、順次異なる要素を選択していきます。地図の広い範囲を表示した状態でピックすると、マウスポインタの位置から離れた地物がピックされることがあります。この場合、ズームで地図表示を拡大してから、再度ピックしてみてください。

【マーク点】

コントロールキーを押した状態でのマウス左ボタンクリックで、ピックした地物を「マーク点」としています。右ボタンクリックで、マーク点からの方向角や距離を表示し、なにもないところをクリックすることで、マーク点が解除できます。

【未処理項目】

以下の問題が判明しておりますが、未対応の状態です。

- ・ 座標値パネルの表の一部が表示されないことがあります。タブを切り替えることで正常に表示します。
- ・ アプリケーションを複数個立ち上げると、3Dパネルに表示されないことがあります。
- ・ PCのネットワークとの関係でPCの名前が取得できずに、ライセンスキー処理に失敗することがあります。再度アプリケーションを立ち上げるか、PCを立ち上げなおしてみてください。
- ・ 線分の端点が3Dパネルの外側に位置するほど拡大されている場合、その線分をクリックしても、要素が選択できないことがあります。

【更新記録】

[2.01 2007/12/24]

- ・ 地籍フォーマット2000のバージョンが1.1の場合、筆界点のZ値について、「標高」ではなく「地盤高」を参照し、3D表示に使用する機能を追加しました。

[2.02 2008/10/01]

- ・ 筆属性から該当する筆・長狭物図形を探す際に失敗するケースを修正しました。
- ・ 筆属性から該当する筆・長狭物図形がなくても、地図番号数が0の場合、エラーとしないように変更しました。

[2.02 2008/10/15]

- ・ Windows Vista(32bit, 64bit)に対応。